

久山中便り

久山中学校
令和8年4月9日発行
第02号

みどりコミュニケーション 入学式

九日は、第80回入学式でした。99名の新生が希望と緊張を見せながら、中学校生活の一步を踏み出しました。

たくさんのお来賓、保護者の皆様にお越しいただき、門出を祝福いただきました。式辞を紹介します。

九十九名の新入生の皆さん。
入学おめでとうございます。
ようこそ、久山中学校へ。

これから本校で、新しい仲間や先生方との学びを大いに楽しみましょう。
さて、本校には、「みどりコミュニケーション」という言葉があります。
これは、昨年度卒業した生徒会役員の皆さんが、身だしなみの合言葉として考えたものです。

みどりの「み」は、自らを肯定すること。
これは、自分の長所を伸ばすことです。例えば、サッカーが得意だとか、元気のよい挨拶ができるといったよさを伸ばしたり、高め

たりすることです。

「ど」は、どんな人にも配慮すること。

これは、周りの仲間を不快にさせないことです。例えば、学習用具を忘れて友達から借りたり、冷やかしかからかいの言葉を使ったりして、相手や周りに嫌な思いをさせないことです。

「り」は、理解ある地域や社会のことです。性別や国籍、文化などの違いを超えて支え合いつながりながら生きていく社会をつくっていくということなのです。

自分自身を大切に、他者を敬い、地域や社会の中で、支え合いながら生活していこうとする心得です。とっても素敵な合言葉だと思います。

この言葉の考え方を、今の生徒会も大切に、自分たちの身だしなみを自分たちで見直し、実践しています。

久山中学校は、生徒の皆さん自身で自分たちの学校生活を考えていく学校にどんどん変わっていています。

新入生の皆さんも「みどりコミュニケーション」の意味をしっかり理解し、自分を大切にすると同時に他者を大切に、おうちの方や地域の方から愛される中学生になれることを期待しています。

保護者の皆様にお祝い申し上げます。

お子様のご入学、誠におめでとうございます。また一つ、大人への階段を昇ったことに、感慨もひとしおのことだと存じます。

我々職員も、この多感な時期にお子様をお

預かりする責任を強く感じております。

しかし、その過程では、様々な壁にぶつかりながら成長していくのも事実です。我々の担えない部分は、家庭や地域のお力添えが必要となります。その際は、温かくご支援くださるようお願い申し上げます。

結びに、久山町町長様、町議会議長様、教育長様をはじめとする、たくさんのお来賓の皆様、地域の皆様。

温かい眼差しで子どもたちの門出を祝福いただいたことに、厚く御礼申し上げます。

今後も、本校教育の充実・振興にご援助・ご支援くださるようお願いしまして、式辞といたします。

久山中便りの閲覧

「久山中便り」は、紙面発行せず、町のホームページから閲覧できるようになっています。

久山中の生徒たちの様子、学校行事、学校生活などをお伝えしています。

下の二次元コードを読み取れば、端末から閲覧できるようになります。

定期的に更新しておりますので、どうぞご覧ください。(週1回は更新中)

